

広 監 第 2 2 号
令和 5 年 1 2 月 8 日

広陵町議会議長 山村 美咲子 様

広陵町監査委員 赤 銅 修
同 吉 村 裕 之



令和 5 年度定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づく令和 5 年度の定期監査及び同条第 7 項の規定に基づく監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を別紙のとおり報告します。

令和5年度

監査結果報告書

広陵町監査委員

地方自治法第199条第4項に基づく定期監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和5年10月17日	図書館・総合政策課・税務課
令和5年10月23日	リレーセンター業務課・議事課・秘書人事課
令和5年10月24日	こども課・認定こども園準備室・安全安心課
令和5年10月25日	環境政策課・上下水道課
令和5年10月26日	会計課
令和5年11月1日	協働のまちづくり推進課・農業振興課・産業総合支援課
令和5年11月6日	真美ヶ丘中学校・北かぐやこども園・ 真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園・真美ヶ丘第一小学校
令和5年11月7日	デジタル推進室・スポーツ振興課・中央公民館
令和5年11月8日	総務課・社会福祉課・子育て総合支援課
令和5年11月9日	生涯学習文化財課・用地開発課・教育総務課
令和5年11月13日	住民課・介護福祉課・けんこう推進課
令和5年11月14日	保険年金課・都市整備課・学校支援課
令和5年11月15日	広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会

2 監査の場所

広陵町役場 3階第1会議室及び各出先機関

3 監査の方法

監査対象の各課（かい）において、令和5年度における事務事業及び予算の執行状況及び令和4年度の課題に対する対応状況等について提出された監査資料に基づき監査を実施した。

併せて、関係書類及び帳簿等の処理方法について審査を実施するとともに、担当課（かい）長及び担当者から事情聴取を行った。

4 監査の結果

令和5年度上半期の予算の執行については、各部署において適正かつ効率的に執行されている。事務事業の進捗状況において、現状は遅れは見当たらず、適正な進捗管理がなされていることを確認した。引き続き、計画的な事務執行に努められたい。

団体補助金について、年度ごとの精算に伴う返戻や、団体運営補助から事業費補助への転換について、一部再検討が必要な団体補助が見受けられたため、適切に対応されたい。多額の次年度繰越金が発生している団体もあることから、適正な補助金であるか再度、決算状況等を確認されたい。

職員については、その課での業務について経験の浅い職員で構成されている課が見受けられた。オールマイティーな職員を養成しつつも、並行してスペシャリストも養成する複線型人事の考え方を参考にされたい。

前年度と比べて改善はされているが、令和4年度決算においても多額の不用額や繰越額が見受けられたため、適切な執行管理について徹底して取り組まれたい。

引き続き、予算の執行にあたっては、事務事業の見直しを積極的に進め、常に費用対効果を考慮し、徹底した節減に取り組まれたい。

総合政策課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

町政説明会の参加申込について、QRコードスキャンによるオンライン申込を実施し、事務の効率化と感染症対策を併せて図られている。
今後についてもアンケートを実施し、町民のニーズに合わせて発信する情報や見せ方について検討していくとのことであるので、引き続き、町民にとって分かりやすいものになるよう工夫を続けられたい。

事業マネジメントシートの活用や政策推進審議会の専門的知見を取り入れることで、最小限の費用で最大の効果が得られるよう、政策を評価・精査されている様子が窺えた。また、事業に対する指摘を活かして、指摘を受けた職員がスキルアップできるような仕組みづくりを意識されたい。

前年度の課題への対応

地域公共交通について令和5年7月より予約型乗合バスの運行を開始し、再編前と比べ、約26%の利用増となっているとともに、コストについても再編前と比べ抑えられるとのことであり、現状としては事業として成功していることが窺えた。

令和5年10月から有償運行開始に向けて、さらなる利用促進のための地域説明会を実施予定とのことであるが、町民の理解を得られるよう周知を徹底していただくとともに、データの蓄積に努められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

税務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

法改正による特定小型原動機付自転車のナンバープレート交付については、体制としては整っているが申請件数は少ないとのことであった。

令和5年度上半期の差押の件数が前年度比で減少しており、徴収率も減少しているため、下半期については、差押実施までのスピード感を意識して、事務改善を図られるとのことであった。

資産税の評価業務について早期着手により前年度より時間外業務時間を削減できたが、まだ削減の余地があるとのことであるので、引き続き業務を円滑に遂行できる体制づくりに努められたい。

前年度の課題への対応

前年度に引き続き、確定申告受付を事前予約制で実施されている。前回の経験を活かして相談時間や人員配置を見直したことで対応件数が増加しており、事務改善の意識をもって事業実施されていることが窺えた。
また、課員全員が申告受付対応できるよう勉強会を開催するなど、職員のスキルアップにつながる取組も実施されている。

今後は、償却資産の現地調査について積極的に実施されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

団体への補助金について、補助金の使途内容について適切なものとなっているか再度、決算状況等を確認されたい。

リレーセンター業務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

家庭用生ごみ処理機等設置費補助金事業について、申請件数が減っている。予算を意識してあえて啓発を控えたとのことであるが、分別方法、ごみの減量化の啓発と併せて、広報・LINE等を活用して周知されたい。

前年度と比べて、ごみ量全体としては約156トン減少しているとのことであり、ごみの減量化の啓発の効果が出ていることが窺えた。

前年度の課題への対応

中継施設としての運営は概ね順調であることが窺えた。
可燃ごみについては引き続き当日搬出できるように努めていただきたい。

令和7年度から広域での処理が開始となる予定であるが、スムーズに事務転換できるよう、遺漏なく準備を進められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

議事課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

議会事務局として、議会の円滑な運営、議員活動に必要な支援調査、議会活動の報告などを適正に行っておられることが窺えた。

新たに「若者議会」を開催予定であり、広く子どもや若者の意見を町政へと届ける機会を創出するとともに、意見交換や議論の場を創出するなど、議会をより身近に感じていただくための取組を行っておられる。

前年度の課題への対応

畿央大学生や民生委員・児童委員を対象に議員報告会を開催し、広く意見を聴取するなど、町民や学生と協働して、議会への関心を深めていただくための取組が認められた。

今後も引き続き、本議会の録画配信にかかるアクセス状況などの把握とライブ配信にかかる費用対効果の検討を行うとともに、議会だより、ホームページ、議会報告会など様々なツールを活用し、「住民が身近に感じることのできる議会」「開かれた議会」を目指していただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

秘書人事課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度は、通常業務に加え、会計年度任用職員への勤勉手当の支給や給料の遡及改定等の制度改定、放課後子ども育成教室の委託に向けての事務等、事務量が増大するとのことであるので、課内で協力・連携し、効率的・計画的に事務執行されたい。

病気休暇や中途退職される職員も見られるとのことなので、計画的な採用でバランスを取られたい。

前年度の課題への対応

業務に習熟した職員が少なく、経験の浅い職員で構成されている課が見受けられる。若いうちに2～3年程度で幅広く業務を経験させてオールマイティーな職員を養成することも重要ではあるが、ゼネラリストとスペシャリスト双方を養成する複線型人事の考え方も参考にし、課ごとの人員配置のあり方について研究されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

こども課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

幼児保育の無償化により今後も保育所の利用者は増えていくものと思われ、現状も待機児童が発生しているため、引き続き保育の受け皿の確保に努められたい。

放課後子ども育成教室についても、現状定員を上回る登録者数となっている。今後さらに希望者は増えていく見込みであることから、施設の確保を急務とされており、近隣施設の調査・検討に取り組まれていることが窺えた。今後、放課後子ども育成教室の委託に向けての検討を進められるとのことであるので、関係部局と連携し、計画的に実施されたい。

前年度の課題への対応

畿央大学付属広陵こども園の整備により保育の受け皿が増えたことで、待機児童の問題は緩和されるかと思われたが、令和5年9月時点では7名の待機児童が発生している。

現状としては、保育ニーズは高まっているが、長期的には少子化によるニーズの減少も考えられるので、さらなる保育施設の整備拡大については、慎重に検討のうえ計画的に実施されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

認定こども園準備室

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

「畿央大学附属広陵こども園」第二期工事（園庭等整備）に向け、広陵西第二幼稚園園舎の解体工事を実施し、6月末に完了するなど、事業の順調な進捗が認められた。

広陵東小学校区においても、公私連携幼保連携型認定こども園を令和8年4月に開園するため、協議を進められている。
こども園に移行する園児及び保護者の負担が最小限となるよう、周知の徹底をするとともに、スケジュールに遅れが生じないように計画的な事業執行に努められたい。

前年度の課題への対応

「畿央大学附属広陵こども園」について、保護者負担が公立の北かぐやこども園と同程度になるよう町が支援することや、広陵西幼稚園及び広陵西第二幼稚園で勤務していた教諭が継続してこども園に勤務するなど、園児及び保護者の負担が最小限になるよう法人と町が密に連携を取られていることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

安全安心課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度も区役員、消防団、協定締結業者等と連携して地域防災訓練を実施し、職員防災訓練としてシェイクアウト訓練を実施するなど、防災意識の醸成に努められている。

避難行動要支援者支援プランについては、今年度も同意者名簿の更新が済み、各団体に提供されており、地域との連携を深めつつ事業執行されていることが窺えた。

民間の社会福祉施設との協定を進め、要配慮者に配慮した避難所の確保を図られるなど、民間との連携体制づくりに努められていることが窺えた。

前年度の課題への対応

令和5年3月に地域防災計画の策定が完了している。今後、地区防災計画の策定に取りかかるとのことである。

地域防災訓練について、昨年度よりも参加者は増えているとのことであるが、引き続き、地域と連携しながら、啓発に努められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

団体への補助金について、繰越金で支出全般を賄っているものが見受けられる。補助金の精算について検討されたい。
また、補助金の使途内容について適切なものとなっているか再度、決算状況等を確認されたい。

環境政策課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

狂犬病予防接種を受けられていない犬について、一部把握しきれていない問題があるため、解決に向けて対策を練られたい。

山辺・県北西部広域環境衛生組合及びまほろば環境衛生組合については、順調に推移していると認められる。

引き続き、関係市町村等との連携を図りながら事業を円滑に進められたい。

前年度の課題への対応

空き家コンシェルジュについて、実績が出ていない現状であるので費用対効果を考え継続するべきなのか再度検討されたい。

蚊等の集団防除費補助金について毎年決まった地区から申請があるようなので、補助の在り方について検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

団体への補助金について、繰越金が多額となっているものについて継続して補助を行う必要があるのか精査されたい。

上下水道課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

下水道料金の値上げについては、上下水道事業経営審議会を開催し、審議を行っておられ、議員懇談会等にて議会に対しても協議を進められている。適切な改定時期を判断し、実施にあたっては町民等への丁寧な周知説明に努められたい。

滞納に対しては積極的に給水停止処分等を行い、滞納者の数は減っているとのことであった。無断移転者等の対策として、開栓手続の申請書の様式変更や必要な添付資料の追加など、対策を講じておられることが認められた。

前年度の課題への対応

令和7年度にスタートする県域水道一体化に向けて、県と市町村で協議を進めていたが、新知事から統合後の財政シミュレーションや統合のあり方について疑義があることから、事業の進め方を再検討する事態となっているとのことであり、今後も引き続き県や他市町から情報を収集しながら適切に進められたい。また、県の方針が定まりしだい、経過について町ホームページに掲載するなど、住民に周知できるよう準備を進められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

会計課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

前年度に引き続き、事務執行について遅滞及び遺漏なく適切に処理しておられる。

指定金融機関検査について、今年度についても南都銀行に対して実施され、適切な事務執行がなされていることを確認されたとのことである。今後も指定金融機関調査により適切な事務執行を確認されたい。

前年度の課題への対応

口座振込手数料の値上げや、収納代理金融機関の撤退等銀行との協議が必要な事項が多いと思われるが、引き続き他市町村の動向も注視しながら、本町にとって最適な選択をされたい。

備品管理について、備品の定義づけや分類が難しいところではあると思うが、総務課管財係と連携して、どこまで管理すべきか整理していただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

協働のまちづくり推進課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度も地域担当職員を活用して地域の課題やアピールポイントを聞き取りし、コミュニティカルテの更新を行っておられる。
併せて、防災通信システムを活用した地域メールの導入支援をするなど、地域に向けて新しい提案を行っておられる。

まちづくりに参画する住民が多ければ多いほど、できることも多くなるため、より多くの方にまちづくりに関わってもらえるよう、興味・関心を持たせる工夫をしていただきたい。

まちづくりに協力的か否かは地域性が出るころではあるが、その地域の特性に合わせた方法で、行政と住民の協働を推進されたい。

前年度の課題への対応

広陵町まちづくり推進計画及び広陵町男女共同参画後期行動計画について令和5年3月議会で議決されている。計画策定にあたっては、勉強会の実施やワークショップの開催など、実効性のある計画になるよう広く意見聴取した上で策定されたことが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

農業振興課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

農業塾について、9月から座学の夜間講座を開催するなど、新規塾生向けの新しい取組により、塾生に長く続けていただけるように方策を検討されていることが窺えた。

特定農業振興ゾーンについて、決定した担い手が何らかの事情で営農を継続できなくなった場合等に振り分けた農地が遊休農地にならないような仕組みづくりを検討されたい。

前年度の課題への対応

特定農業振興ゾーンについて、百済川向地区においては、Aブロックにおいて施工を完了され、11月から営農を開始しているなど、事業の進捗が認められた。残りのブロックについても、関係機関とともに協議を続けられたい。

遊休農地の抑制のため、土地所有者の農地の利用状況及び今後の営農についての意向確認を引き続き行い、後継者がいない場合にマッチングできるよう活動を進めるとともに、農地の集約に努められたい。

町内農業を存続するためには、いかに担い手を見つけていくかが最大の課題となる。引き続き、農業を始めるきっかけづくりや後継者の育成支援に力を入れていただきたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

産業総合支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

KoCo-Bizについて、今年度は国の補助が不採択となったものの、KoCo-Bizの果たしている役割が大きいため、事業継続を決定したとのことであるが、費用対効果を精査するとともに、連携市町からの負担金の増額等も検討されたい。

相談件数の増、高いリピート率は成果として把握できるが、相談によって収益がいくら増え、どれだけの税収増に繋がったという明確な成果を把握できていない現状にある。利用者側は相談による収益の増額等の効果を把握されているはずなので、利用者側からデータを収集し、事業の継続やセンター長の評価に繋げるなど検討されたい。

前年度の課題への対応

『くつした』『いちご』等の特産品について、地域資源ブランディング事業の進捗に合わせて、イベントの機会を増やし、情報発信の頻度を高められたい。

ふるさと納税について、令和4年度は寄附額が1億円を突破したとのことであった。

10月からふるさと納税の運用ルールが大幅に変更される影響で全国的な値上げが行われ、本町でも一定の値上げを実施しているとのことであった。

他市町村の動向や寄附者の反響を注視し、柔軟な寄附額の変更をはじめ、寄附額向上に必要な対策を講じられていることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

真美ヶ丘中学校

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

光熱費の高騰等により、予算の枯渇が懸念されるため、不要箇所のこまめな消灯、勤務開始までの時間の職員室の消灯により、光熱費の節減に努めておられているほか、職員間のペーパーレスによる消耗品費の節減にも努めておられる。引き続き経費節減に向けた取組を継続されたい。

建物の老朽化による故障や雨漏り等が頻発してきている。予算の都合もあるが、教育委員会との協議を続け、優先順位をつけた計画的な修繕に努めていただきたい。

前年度の課題への対応

コロナ明けでイベントが再開していることや、物価高騰により、消耗品費等の経費が高くなってきている。今後も引き続きペーパーレスの推進等により、職員の節約意識を高めていただきたい。

広いグラウンドや敷地の草刈り等、学校だけでは対応しきれない問題を抱えておられる。学校運営委員会を上手く活用しつつ、ボランティアを募っていただき、地域や保護者の協力を得るなど、教育委員会と協議しながら、解決方法を検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

北かぐやこども園

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新型コロナウイルスが第5類になったことにより、今年度は行事について再開し始めている。コロナ禍で得たノウハウやアイデアを活かして、コロナ前の行事より、より良いものになるように工夫されていることが窺えた。

今年度は西校区の幼稚園の閉園等の影響で大きな人事異動があったため、職員研修に積極的に参加しているとのことであった。

年々こども園の需要は高まっており、200名を超える園児を抱え、日々多忙だとは思われるが、職員のスキルアップやモチベーションアップに繋がる取組を継続していただきたい。

前年度の課題への対応

職員の産休育休が重なっていることで、人員に苦勞されている現状が窺えた。また、職員に子育て世帯が多いこともあり、急な休みが重なるとカバーすることが難しいこともあるとのことであった。

秘書人事課と連携して募集も行っているが難航しており、昨今の保育士不足の影響を受けておられることが窺えた。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

小規模園であるが、他の園との合同遠足、地域との交流も積極的に実施されており、園児が毎日楽しい生活を送れるよう工夫されていることが窺えた。

園児が少ない分、担任の枠を超えて園児ひとりひとりの事を共通理解されているなど、少人数であるからこそそのきめ細やかな保育がなされていることが認められた。

前年度の課題への対応

新型コロナウイルスが第5類になったことによって、行事の人数制限も解消し、動向を見ながら行事も再開しておられることが窺えた。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

真美ヶ丘第一小学校

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

Loiloノート・ジャムボード等のデジタルツールを活用した、グループ学習やペア学習等を通して、自ら考え表現する力を身につけさせるための授業構築に努められていることが窺えた。

校務支援システムへの入力作業が教員の事務負担となっているとのことであり、他市町村の動向及び費用対効果を鑑み、入力事務を担うICT支援員の導入について、引き続き教育委員会と協議されたい。

前年度の課題への対応

クロームブックについて、新入生に対して割り当てられる端末が昨年度卒業した中学校3年生が使用していたものであるために、割り当てられた時点で状態の悪い端末もあり、交換や故障時の弁償対応等、学校としては負担に感じておられるとのことであった。

校務支援システムの活用によって、会議資料のペーパーレス化の推進を行っておられるが、役場や県からの文書についてはセキュリティ上の問題で校務支援システム内で共有できないこともあり、紙での回覧を未だ行っているとのことであり、教育委員会との協議のうえ、学校にとって良い方策を検討されたい。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

デジタル推進室

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

令和7年度までに実施する必要がある基幹システムの標準化対応の準備については、本町のみならず、奈良県基幹システム共同推進部会の部会長としても対応されている。

令和6年度中の町ホームページの更新に向けて、現行のホームページの問題点等の洗い出しや、サウンディングを行っておられる。アクセシビリティを考慮した、アクセスした住民にとって、わかりやすい・必要な情報が探しやすいホームページレイアウトを目指して検討を続けられたい。

前年度の課題への対応

広報紙について、自治会未加入者には広報紙が行き渡っていない自治会があるといった問題が発生しているため、広報紙の配布方法の見直し及びデジタル広報への切り替えも検討されたい。

デジタル及び各分野の専門的な助言や意見交換の場として、広陵町DX推進計画検討委員会を設置し、職員、住民や議会議員、事業者の方々と協働し、課題を洗い出すため住民アンケートやワークショップを開催するなど、計画の策定に向けて、広く意見を取り入れていこうとする姿勢が窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

スポーツ振興課・中央公民館

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

体育施設の使用料の改定によって、従前からの利用者の利用頻度や利用時間が減ったが、その分の空いた時間に新規の利用者が増加していることにより、稼働率は維持できており、料金改定分増収に繋がっているとのことであり、受益者負担に準じた適正な使用料となったことが窺えた。

前年度の課題への対応

スポーツフェスティバルについて、前回のアンケートでの意見を積極的に反映して、競技内容を変更するなど、子どもからお年寄りまで、どの年代も楽しんでいただけるような内容を意識されている様子が窺えた。

町内の小学生を対象に夏休みイベントを多数企画し、多くの参加者が集まったとのことであった。引き続き、若年層が公民館に足を運んでいただけるきっかけとなるよう、イベントや企画を実施されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

公民館運営審議会について、設置が必要なのかどうか整理されたい。

総務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

委託料について、委託せず職員が対応することでコスト削減に繋げられるものがないか予算査定の際に精査されたい。

文書の廃棄について、適正に処理されているとは思われるが、今一度廃棄について厳正に行うように各課に通達されたい。

残しておかなくてはならない文書が現存しているかを確認する作業が必要であると思われるため、年1回程度の頻度で全ての保存文書の確認作業の実施を検討されたい。

前年度の課題への対応

来年度から運用の財務会計システムの入替については、遅滞なく対応されたい。

文書管理システムに続き、財務会計システムについても電子決裁を早期に導入し、ペーパーレス化に努められたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

不用額の記載方法について、現状の表記（予算と決算の差引）では不用額における財源内容が不明であることから、財源内容について併記することについて検討されたい。

社会福祉課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

今年度は「障がい者計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」の3計画が見直し時期となっており、委員会の開催やアンケート調査の実施など、3月議会への上程に向けて順調に事務を進めておられることが窺えた。

地域生活支援拠点の設置について、3市1町障がい者自立支援協議会にプロジェクトチームを発足し、協議を重ねてきたところであるが、自治体と福祉事業所とのビジョンの違いから一旦プロジェクトチームは解散となり、自治体単位で設置を目指すこととなったとのことであった。

本町の目的に沿った地域生活支援拠点に向けて、引き続き検討を重ねられたい。

前年度の課題への対応

本町においては他市町村と比べて、障がい福祉事業所への事務作業等に該当する仕事の委託が少ない状況であったが、新たに役場庁舎の除草作業を4事業所に花壇の管理作業を1事業所に委託しているなど、進捗が見られた。引き続き、各課に委託可能な業務がないか投げかけていただきたい。

福祉サービス利用の需要が増え続けており、サービス利用が望ましいのか個々の事例に対して判断を求められる場面も多く、職員のアセスメント能力が求められるとのことである。研修に積極的に参加し、研修で得た情報等について近隣自治体担当者とも共有を図る機会を設けており、一律に適切な支給決定ができるように協議を行っておられるなど、近隣自治体と連携しながら、職員の能力向上に努められていることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

子育て総合支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

3月から始まった出産・子育て応援給付金事業について、伴走型支援・経済的支援ともに順調に事業執行されておられる。引き続き、妊産婦の様々な悩みや不安に寄り添いながら適切な支援が行えるよう、相談支援体制を強化されたい。

なかよし広場事業について、今年度から毎月1回、作業療法士による「子育て講座」及び保育コンシェルジュによる「すこやか相談」を開催するなど、子育て中の親子の交流の場としての役割を維持しつつ、より良いものになるよう検討を続けられていることが窺えた。

前年度の課題への対応

昨年度より子育て家庭総合相談センターが開設され、町内全ての子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、専門の職員による相談や関係機関との連絡調整を行っておられる。新たに情報提供用の共通様式を作成したり、適宜担当者で情報共有を行っておられるなど一定の進捗が認められた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

生涯学習文化財課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

箸尾準工業地区の開発により、出土品が多く発掘されており、発掘調査に人員が割かれている現状ということであった。
多くの出土品により、遺物の保管場所の確保が問題となっているが、旧エコセンターの建物を保管場所として活用することを予定されているなど、保管状況の改善に取り組まれていることが窺えた。

文化祭のポスターデザインについて全生徒に配付されているクロームブックを活用して中学生からデザイン募集するなど、若年層に文化祭への認知度向上を図られている取組が認められた。引き続き、出展者の高齢化及び固定化対策について取組を継続されたい。

前年度の課題への対応

二十歳のつどい（旧名称：成人式）については前回の経験を踏まえ、人の流れを調整し、撮影業者の協力も得ながら、記念撮影時の混雑等の前回までの課題を解決されたとのことであった。
町内の企業を対象に新成人への記念品の提供の依頼を呼びかけておられるなど、町内業者のプロモーションと新成人のシビックプライドの醸成に繋がる取組を実施されていることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

広陵文化協会への団体補助金について、数年に1回の文化展に向けて、複数年にわたって補助金を積み立てて事業実施しておられるが、事業額に対して補助を行うべきではないのか再度精査されたい。また、補助金の使途内容について適切なものとなっているか再度、決算状況等を確認されたい。

用地開発課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

箬尾準工業地区について予定どおりの企業誘致が進められていることが確認できたが、造成工事における開発許可が遅れており、それに伴い、企業への引渡時期が遅れるとのことであった。
工事の遅れから、今後、事業補償金等、新たなコストが発生する可能性もあるが、企業と交渉を重ね最小限のコストとなるよう努められたい。

前年度の課題への対応

平尾正相線用地交渉については、買収に向けて2名の地権者と交渉中であり、中1号線用地は買収が完了している。箬尾準工業地区用地交渉については、残り1名の地権者と交渉中であり、今年度中の契約を目指しておられる。引き続き、用地交渉を続けていただき、早期の完了を目指して事業実施されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

箬尾準工業地区に係る事業の遅れによって繰越が発生している。
今後、事業の遅れが無いよう執行管理されたい。

教育総務課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

小中学校LED化更新事業（ESCO事業）について、現場作業が完了しており、おおよそ65%程度の電力削減の見込みとのことであった。今後の他施設更新の指針とするため、実際の削減実績についてデータ収集されたい。

GIGAスクール構想について、昨年度に引き続き推進委員会を開催して、情報知識や授業での活用方法等を学校間で情報交換する場を定期的で開催されるなど、積極的な姿勢が窺えた。

前年度の課題への対応

施設の老朽化による修繕箇所については、本町全体における修繕計画に基づき、優先順位をつけて、計画的に実施されていることが窺えたが、現場や保護者に対して、修繕計画について理解してもらえるよう、説明にも努められたい。

校務支援システムについて、セキュリティ上の理由から閉域ネットワークで運用されていることにより、業務上不便に感じておられる現場の教員もいるため、引き続き、教員とのセキュリティ意識の共有や、仮想ネットワークの活用等により現状抱えておられる不便を解消できるような方策の検討を続けられたい。
校務支援システムの導入に伴う、入力や更新作業について、教員の負担となっており、入力事務を担うICT支援員の導入が現場から望まれている現状は把握されており、費用対効果にも配慮しながら、教員の負担が軽減できるよう協議を続けられたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

住民課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

5月末まではマイナンバー関連の申請等で窓口が混雑することが多かったが現在は徐々に落ち着いてきているとのことであった。マイナンバーカード申請率としても9月末現在で85.2%に至るなど、広報活動の成果が認められた。

「おくやみハンドブック」について、必要な手続きがわかりやすいと好評を得ているとのことであり、今年度中の「おくやみコーナー」の設置に向けて事務を進めておられる。

前年度の課題への対応

戸籍の届出については、課内での目標として3営業日までに決裁を終えるよう効率よく業務を行うことに努められている。マイナンバー制度に基づく戸籍の情報連携については本格稼働に向けて、準備を進められていることが窺えた。

マイナンバーカード普及率は、出張申請受付等の広報活動によって、昨年度と比べて大きく伸ばすことができた。引き続き、広報活動を続けるとともに、申請はしたものの、カードの受け取りに来られない方について、受取を呼びかけられたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

介護福祉課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

介護保険認定について、高齢者人口の増加に伴って、認定調査の件数は年々増加しており、今年度は600件を超える見込みであるとのことであった。

引き続き、介護予防の推進や認知症の早期診断及び早期対応に向けた支援体制の醸成を続け、認知症や介護が必要になっても暮らし続けられる地域づくりに努められたい。

前年度の課題への対応

課としての業務が、介護保険・高齢施策・地域包括支援センター等、多岐にわたるため、職員間の事務内容の理解や情報共有に努められている。

KDBシステム（国保データベースシステム）を活用した分析によって本町において要介護認定を受けている原因傾向をつかむことで、介護予防の通いの場にて割合の多い原因である高血圧・糖尿病にフォーカスした講座を実施するなど、より効果的な講座内容になるよう検討されていることが窺えた。

また、高血圧であるが未治療の方に対して、訪問による治療奨励も実施されている。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

けんこう推進課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

広陵元気塾について、今年度からコロナ禍前と同様に予約なしで参加可能に戻し、定員も無くして実施しておられる。
元気塾動画については、隙間時間に視聴してもらえるように、短時間の動画を各月配信するなど新しい試みを実施されている。引き続き、運動習慣を獲得するきっかけとなる取組について継続されたい。

検診等の申請については、オンラインによる申請も可能となっており、忙しい子育て世帯が申請しやすいように意識されていることが窺えた。

前年度の課題への対応

今年度から「骨折ゼロのまちへプロジェクト」について取組が始まり、民間企業や畿央大学との連携事業を多数展開されている。集団肺がん検診時にレントゲン写真から骨粗しょう症のリスク判定の無料実施や、元気塾にて骨強化をテーマとした運動を実施するなど、他の事業と連携した方法で事業実施されていることが窺えた。

近年では、新しいワクチンが増え、事務量が大きいものとなっているほか、ワクチンの種類が多く、接種時期が異なることから対応が複雑化しているなか、保健師の募集に対して応募がないことから、専任の人員配置ができていない現状の体制に苦慮しておられることが窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

保険年金課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

県単位化に伴う令和6年度からの保険料水準の統一に向けて、段階的な税率の改正を行ってきており、下半期にて県統一の税率等になるよう最終の改正を行うとのことであった。

産前産後の保険税軽減措置が今後新たに開始され、準備に取りかかっていたている。

また、次年度の予算から県単位化となることから、保険料改定等については、県内他市町村の動向も見ながら適切に対応されたい。

前年度の課題への対応

県単位化に伴って、本町独自の減免制度は今年度で最終となることから、税額通知の際に同封している減免申請のチラシに最終年度となることを明記するとともに、申請時に窓口で今回が本町独自の減免制度適用が最後となる旨の説明を徹底するなど、混乱が起こらないよう周知に努められていることが認められた。

子ども医療費助成事業の対象年齢拡大に伴った新たな業務においても、マニュアル作成等により受付業務の統一化を図るなど、正確な事務処理に努められていることが窺えた。

予算執行状況

適正に執行されていた。

その他

特になし。

都市整備課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

横峯公園の犬の散歩道の対応について、近隣の方からは、今はルールが守られていないことも多いとの声も聞く。対応後の経過の確認はされているとのことであるが、引き続き、意識して経過を見られたい。

道路、公園、水路などの維持管理についての住民要望は多様化してきており、これまで地元が行ってきっていた側溝清掃等について、住民の高齢化によって地元で実施できないという声も挙がっていることから、今後の維持管理の手法について、研究のうえ、本町にとって最適な方法を検討されたい。

前年度の課題への対応

建設係と庶務係と合同で2か月に1度進捗会議を行い、事業進捗の確認をされている。引き続き、遺漏なく事業実施しつつも、優先順位をつけた上で、スピード感を意識して事業実施されたい。

今年度の国費等の補助事業の執行については約50%が執行済みであるなど、概ね順調に事務執行されていることが窺えた。事業の遅延により、繰越が生じないように管理されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

令和4年度においても繰越となった事業が多くあることから、国庫補助に伴うもの等のやむを得ないものを除き、引き続き、できる限り繰越が生じないように執行管理されたい。

学校支援課

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

新規事業として、スクールロイヤーの導入を行っておられ、学校で起きる保護者等とのトラブルに対して、学校・教員が弁護士と直接相談できるようになっているなど、教員・学校への支援について積極的な姿勢が窺えた。
引き続き、教員が子どもへの教育に注力できるよう、教員への支援を強化されたい。

放課後塾について、保護者へのアンケートで好評であるとのことであった。放課後塾での学習が終了した生徒について、学力の向上や学習への姿勢の変化など、事業効果について確認されたい。

前年度の課題への対応

特別な支援、配慮が必要な生徒の数が増えているとのことであるが、特別支援教育に詳しい作業療法士に小学校を訪問してもらい、授業改善に向けての助言を行うインクルーシブ教育推進事業の実施など、学校への適切な指導・支援に努められていることが窺えた。

小学校で通級指導を受けていた生徒の学習を継続する受け皿として、中学校での通級指導についても今年度から実施しておられる。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会

今年度の事務事業の進捗状況及び今後の見通し

毎月の食育の日のテーマメニューとして奈良県の地場産物を使用した給食の提供や、生徒による選定を行った物資を使用した給食の提供、アンケートによる上位のメニューを提供するなど、給食に対する興味を持ってもらうために様々な取組を実施しておられる。

畿央大学生と連携して考案したメニューの提供など、官学連携により残食を減らそうとする取組も認められた。

光熱水費の上昇や食材の価格高騰の影響が大きく、予算のやりくりについて苦慮されていることが窺えた。

前年度の課題への対応

残食率については、前年度より改善されているが、香芝市内の中学校に比べ、本町の中学校の残食率が高い。

引き続き、各校の残食率の状況を研究し、対策について検討されたい。

オーガニック給食について、物価高騰の影響もある中で、食育の観点から工夫して実施したが、残食率が高くなったとのことである。

引き続き、他市町村の動向を見ながら、費用面と食育としての効果のバランスを検討されたい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

地方自治法第199条第7項に基づく財政支援団体等監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和5年11月7日	公益社団法人広陵町シルバー人材センター

2 監査の場所

公益社団法人広陵町シルバー人材センター

3 監査の範囲

令和4年度の財政援助に係る出納その他の事務執行状況

4 監査の方法

監査の対象とする財政援助団体より提出された監査資料に基づき、経営状況の把握・補助金執行状況及び会計処理上の責任体制は確立されているか等について監査を実施した。

5 監査の結果

経営状況・補助金執行状況及びその他の事務執行について適正であることを確認した。

定年延長や再雇用が増えた事によって、70歳を超えてから会員になられる方が増えてきており、会員の高齢化に苦慮されていることが窺えた。

会員の減少も進んでおり、令和4年度においては会員数が前年度比16人減となっており、それに伴い業務の割り振りについても苦慮されている。

次年度には、全会員の1/3程度が80歳以上となる見込みとのことであり、今後は、高齢化や、会員減少により、町から委託する業務すべてを受けることが困難になることが見込まれる。定期的な説明会の開催など、新規会員の募集に尽力されているが、難しい現状を抱えておられる。

新規会員の募集方法の見直し等により幅広い人材に加入を促されたい。

安全意識の徹底については取り組んでいただいているところであるが、引き続き、講習等を通じて、「安全第一」の意識の醸成及び共有を図られたい。